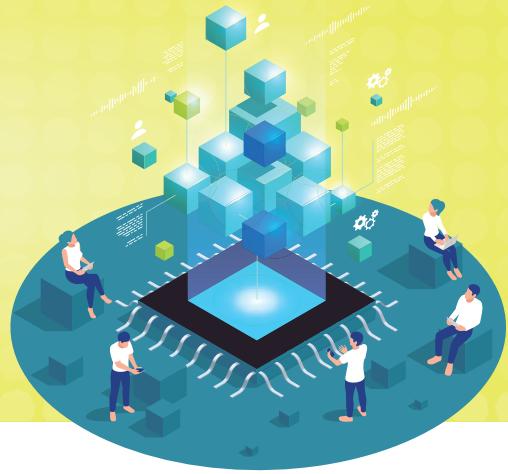


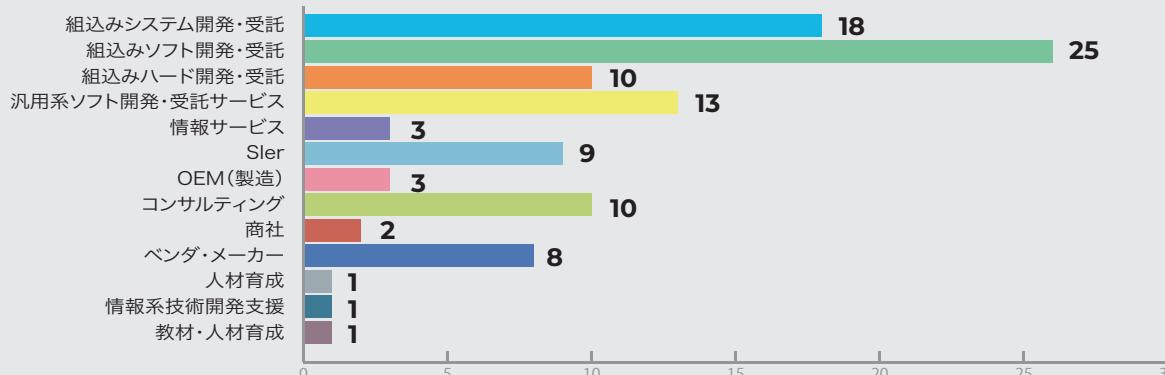
業界2023年の見通し

会員企業 景気動向アンケートより

2022年は、良くも悪くも歴史に刻まれる一年となった。2023年は引き続き海外情勢、円安、インフレなど懸念要素がある一方、新時代対応への投資は待ったなしの状況にもなってきた。景気動向アンケート調査結果から会員企業の動向、業界を展望する。

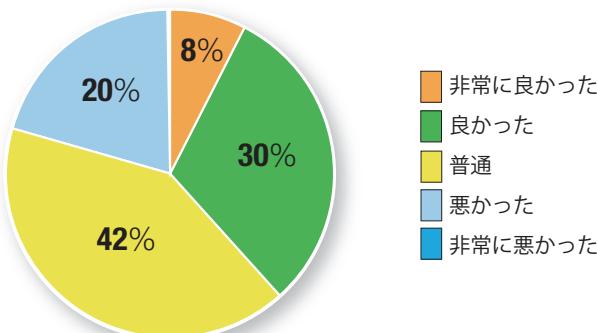


Q1. 回答企業の主たる事業（複数回答）

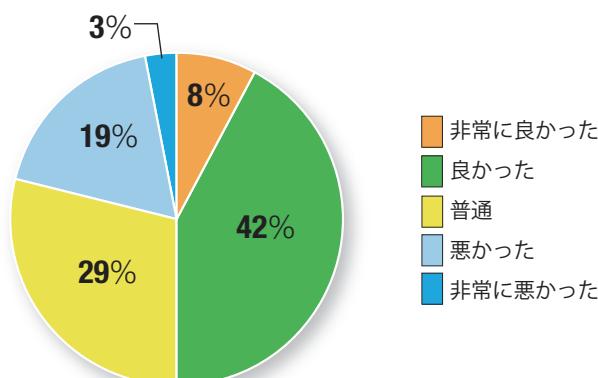


2022年を振り返って

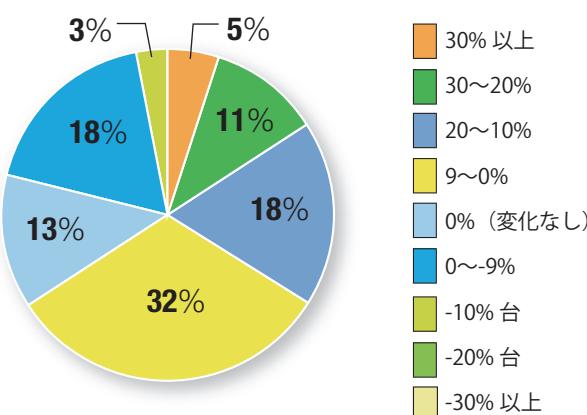
Q2. 2022年の貴社の業績はいかがでしたか？



Q3. 前年と比較して2022年の業績は？

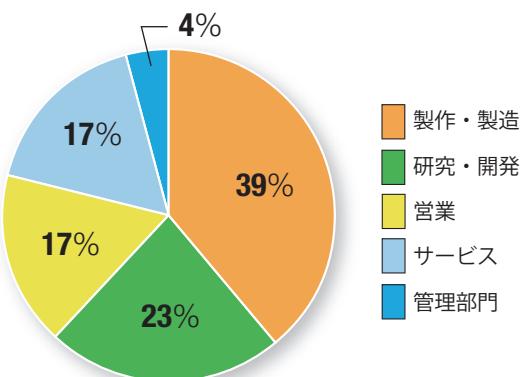


Q4. 2022年業績の伸び率は？

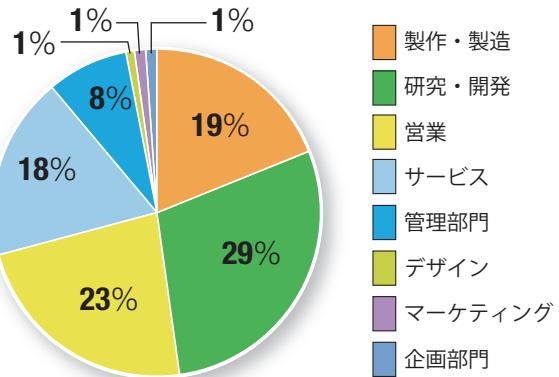


前年から「業績が伸びた」とする企業の割合は前回のほぼ横並いだが、注目すべきは伸び率。プラス成長が約7割あるなか、前回ゼロ回答だった「30~20%」伸びた企業が11%あり、「30%以上」の回答と合わせ20%以上伸びた企業が前回のちょうど2倍となる16%となった。

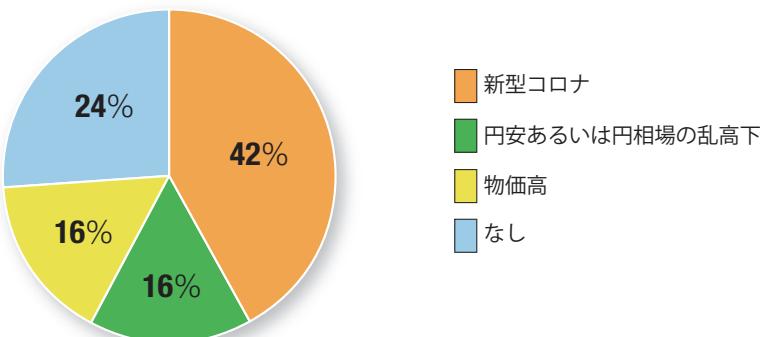
Q5-1. 業績に貢献した部門は？（複数回答）



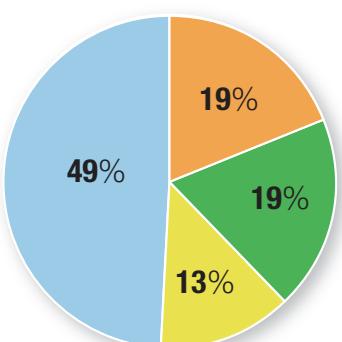
Q5-2. 今後補強したい部門は？（複数回答）



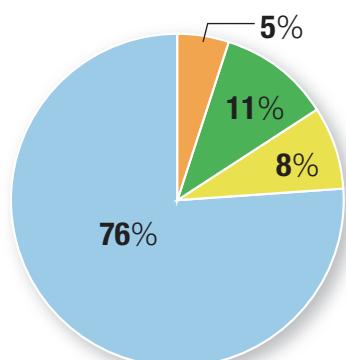
Q6-1. 最も業績に与えた影響が大きかった出来事は？



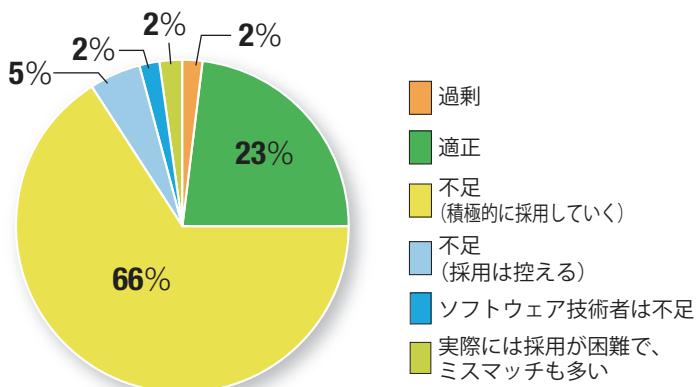
Q6-2. 2番目に影響が大きかった出来事は？



Q6-3. 3番目に影響が大きかった出来事は？



Q7. 技術者の雇用状況は？



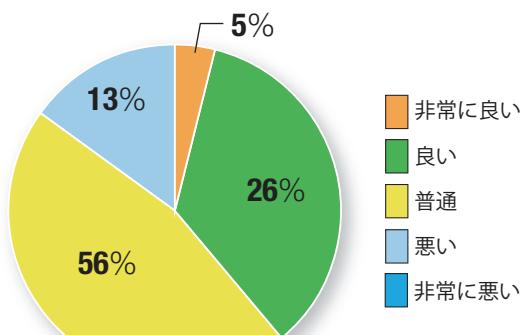
「業績に貢献した部門」は「研究・開発」が「営業」を上回った。「補強したい部門」の優先順でも研究・開発が高く、引き続き同部門に頼る需要の高さが伺える（Q5）。

対外的に受けた影響（Q6）では「新型コロナ」に回答が集中した感がある。「円相場」「物価高」は収益モデルによって回答が分かれたとも言えそうだ。

「雇用状況」（Q7）は「適正」が前回の15%から23%に増えた。「不足(積極的に採用していく)」との回答は前回から-11%となったものの高止まりが続いている。

2023年の景況予測

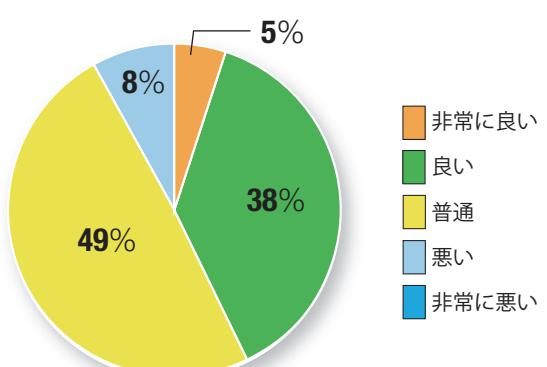
Q8-1. 2023年組込みシステム関係の景況は?



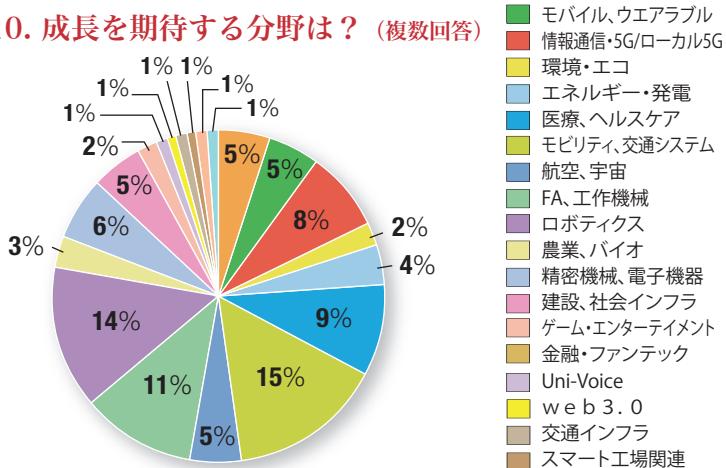
Q8-2. 景況の見立て、その理由は?

- 「非常に良い」とする理由 FA等人材不足分野に需要／車の電動化
- 「良い」とする理由 半導体や部品不足の回復、案件増加／IT投資需要に見込み／停滞していた開発投資の成果が反映
- 「普通」とする理由 大きな変動要因なし／半導体不足の解消次第／米国景気、海外情勢、為替相場など不安リスク／開発など投資の先行き不透明／受注量が以前まで戻っていない／新規開発は減少、開発品の検証ステージがメインに／投資継続と見込む／景況回復が限定的／顧客業種ごとにばらつきあり
- 「悪い」とする理由 ロシア、中国の動向が不安定／LSI製品の需要と供給のバランスが悪い／世界的な景気減速懸念、開発量の減少

Q9. 2023年の貴社の業績は?



Q10. 成長を期待する分野は? (複数回答)



業界の景況について(Q8)「良い」が35%から26%に減少、「普通」との回答が過半数を占めた。半導体不足、海外情勢、為替相場などリスク要素の先行き不透明さで“プラス要素が見えない”という結果とも言えそうだ。

自社に目を向けると(Q9)「非常に良い」「良い」の回

答が前回35%から43%となり、業績は上向くと見る企業が増えている。ただ「悪い」との回答も4%から8%に増えており、なかなか足並みが揃うというわけにもいかないようだ。

「期待する分野」(Q10)では、「ロボティクス」「FA, 工作機械」が2桁に伸び期待が集まった。

Q11. 2023年貴社にとってのキーワードは?

■キーテクノロジー、応用分野関連

- リスキル
- WEB 3.0
- エッジテクノロジーの強化
- rust言語
- 自動運転
- 5G、高周波、半導体パッケージ基板、AI、DX
- メディア、医療、公共、GNSS、IoT、エネルギー
- サーキュラーエコノミー

■自社の環境改善・意識改善、新戦略

- 製品ベースの長期受託開発
- 人手不足への貢献
- 人財の補強と生産性の向上
- 変化への対応
- 多機能・高性能、エッジセンサー開発
- 転換期への挑戦と努力
- 人的資本経営
- 顧客満足
- 人間中心設計
- 品質重視
- 成長事業の基盤構築
- 自社の強みの発見と分析
- 新製品創出
- チャレンジ
- 効率アップ
- 更なる付加価値向上
- 健康経営
- 再生と再興